

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
CS & オペレーション本部
テクニカルサポート

超音波診断装置 計画停電時の対応について

停止方法（電源オフ）に関する内容

予め停電することが判明している場合、トラブル防止のため停電開始時間前までに必ず本装置の電源をお切りください。また停電中及び復旧直後の供給電圧は、非常に不安定な状態ですので、装置停止後から電力供給が安定するまでの間、本装置の電源ケーブルは壁コンセントより外しておくことをお勧めいたします。

CX50 シリーズをご使用のお客様へ

長時間に渡って停電が予想される場合には、低電力ポータビリティ・モード（スリープモード）ではなく、(操作パネル左上部) 電源スイッチにて OFF にして頂きますようお願いいたします。

<注意事項>

装置の電源をオフにする際には、以下の点にご注意願います。

- ・ 検査終了(End Study/End Exam)状態になっていることをご確認ください。
- ・ プリンタへの印刷、ネットワーク送信およびデータ保存操作が完了していることをご確認ください。またプリント中やデータの保存／呼び出し中は、装置の電源はオフにしないでください。プリント印刷やデータ保存が正常に行われないことがあり、装置内部ハードディスクドライブ上のプログラムファイル・データベースの障害が発生する可能性があります。
- ・ まとまったプリントアウトやデータのメディア等へのバックアップ操作は、停電前に処理を完了していただくか、短時間で終了できないと予測される場合は、それらの操作は停電復旧後に、再度実施して頂きますようお願い致します。

起動方法（電源オン）に関する内容

停電復旧直後の供給電圧は非常に不安定な状態であり、また御施設内の電気・電子機器が一斉に稼働し始めることが予想されますので、壁コンセント側では各医療機器の一斉起動による“電圧降下（瞬間停電）”及び“漏電ブレーカの反応（過電流）”が起こることが想定されます。また、最悪の場合は再度、停電が発生する可能性もございますので、御施設内の電力供給が安定したことがご確認できましたら、本装置の電源ケーブルを壁コンセントに接続、通常の手順で電源オンにしてください。

起動後、ご使用を開始する前に始業点検を必ず実施していただき、本装置が正常動作することをご確認ください。

停止、起動方法の手順詳細につきましては各モデルの取扱説明書をご確認ください。
尚、ご不明な点は弊社カスタマーコールセンター(0120-556-494 / 03-3740-3213)までご連絡ください。